

Ⅲ 「郷土と日本、そして世界を知る力」を育成する

1 郷土の魅力を学び、世界の多様性を理解

(1) 国際的視野を持つ人材の育成 << 施策 2 2 >> 高校教育課、義務教育課、特別支援教育課

令和2年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 英語教員の英語力向上を図るとともに、「聞く・読む・話す・書く」の4つの技能を総合的に育成する授業改善を進め、グローバル化に対応した英語教育の充実を図ります。
- ◇ 児童生徒の英語コミュニケーションへの意欲や英語力を高める取組を推進します。
- ◇ 英語教育における市町村の体制整備への支援を行います。

令和2年度 主な取組・事業

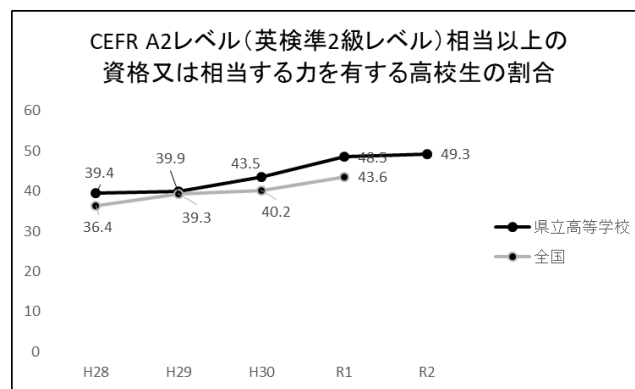
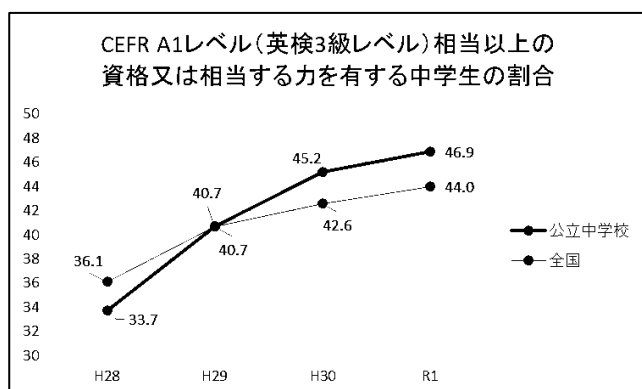
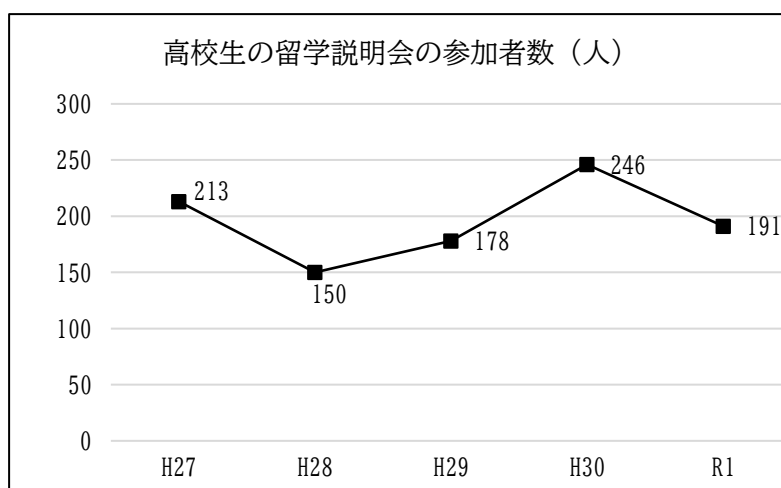
取組・事業名	実績
世界に挑む 人材育成事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生海外留学説明会 中止 <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学支援団体と連携した個別相談 ○ 留学助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10日間から1か月間の短期留学プログラム(学校が申請し文部科学省から採択されたもの)に対し、一人当たり6万円の助成金給付(高校生等奨学給付金受給者は5万円を上限として加算) ※ 留学中止により給付対象者なし
グローバル化に対応した 英語教育の推進 <重点事業16>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導助手(ALT)の配置(令和3年3月現在、政令市を除く。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校対象 56人 (高校教育課1人、県立高等学校54人、県立中等教育学校1人) ・ 小中学校対象 218人 (教育事務所10人、義務教育課1人、市町村教育委員会207人) ○ 配置校以外へのALTの派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校44回、高等学校53回、高等学校英語合宿4人 ○ ALT研修会 年6回 ○ ALT指導力等向上研修 年1回(1日間)オンラインで実施 <ul style="list-style-type: none"> ※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2日の予定を1日に短縮 ○ 英語活動指導員を高等学校に4人配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語以外の科目等を英語で教えるイマージョン教育を実施 ・ イマージョン教育公開授業 中止 ○ ネイティブ英語教員を高等学校に3人配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の統合型の英語力(聞く、読む、話す、書く能力)を育成 ・ ネイティブ英語教員による公開授業及び研修会 中止 ○ 小学校教員のイングリッシュ・セミナー <ul style="list-style-type: none"> ※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い自己研修に変更 ○ 中学校英語教員の英語力向上研修(集合研修:250人) <ul style="list-style-type: none"> ※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い年2回の集合研修の予定を集合研修1回、オンラインでの自己研修1回に変更 ○ 県立高校の外部英語検定試験受験希望者のうち、高校生等奨学給付金受給者に対する受験料の補助 ○ 英語教育重点支援市町村の指定(21市町村) <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育事務所等の指導主事の重点的な派遣 ・ 実践研究に要する経費に対する補助 ○ 小学校5・6年生を対象とした小学生イングリッシュ・チャレンジ 中止 ○ 中学校3年生(政令市、県立中学校、中等教育学校を除く)を対象に英検IBAテストを実施(受験者20,340名) ○ 中学生を対象に中学生英語スピーチコンテストを実施(政令指定都市等を含む県内8地区の予選から46名が出場)

※ 中止は新型コロナウイルス感染症拡大防止によるもの

指 標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
高校生の海外留学の啓発	留学説明会の参加者数	中止 (R2 年度)	200 人 (R3 年度)	—
生徒の英語力	CEFR A1 レベル相当以上(英検 3 級程度以上)の資格又は相当する力を有する中学校生徒の割合 ※2	調査中止 (R2 年度)	50% (R3 年度)	—
	CEFR A2 レベル相当以上(英検準 2 級程度以上)の資格又は相当する力を有する県立高等学校生徒の割合 ※3	49.3% (R2 年度)	50% (R3 年度)	○

※ 令和 2 年度の英語教育実施状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止



※ 英語教育実施状況調査の中止により、令和 2 年度の全国値は不明

成 果 「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能が高まり、実践的な英語力が向上しました。

- ・ 県立高等学校における CEFR A2 レベル相当以上（英検準2級程度以上）の生徒の割合が増加しました。
- ・ 英語活動指導員によるイマージョン授業（英語以外の教科を英語で学ぶ授業）を8校で実施し、より実践的な英語力の向上や学習意欲の向上を図りました。
- ・ 「CAN-DO リスト」^{注1)}形式の学習到達目標を設定している中学校及び学習目標の達成状況を把握している中学校の割合は100%（政令市を除く。）でした。

課 題 生徒の4つの技能を総合的に育成するため、英語教員の指導力と英語力をさらに高める必要があります。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、留学者数が減少しています。
- ② 高校生の英語力は着実に向上していますが、目標を達成するためには、生徒の「聞く・読む・話す・書く」の4つの技能を総合的に育成する必要があります。また、英語教員の指導力をより一層向上させる必要があります。
- ③ CEFR A1 レベル相当以上（英検3級程度以上）を取得する中学生の割合については、令和2年度は調査が実施されませんでした。目標達成に向けて向上を目指す必要があります。

対 応 英語教員の指導力・英語力向上のための研修等を引き続き実施します。

- ① 引き続き感染状況等を注視しつつ、留学説明会を実施し、高校生の海外留学への興味・関心を高めるとともに、留学に対する助成金の周知に努め、再び留学者数が増加するよう努めます。
- ② 生徒の統合型の英語力（聞く、読む、話す、書く能力）を育成するために、英語活動指導員やネイティブ英語教員を引き続き活用し、英語教員に対する研修として、配置校において公開授業を実施します。
- ③ 小中学校教員対象の英語力向上研修を実施して、教員の英語力及び英語指導スキルの向上による英語授業改善を図るとともに、中学3年生を対象とした英検I B Aテストの実施や中学生英語スピーチコンテストの開催を通して、英語力の高い生徒の育成に努めます。

注釈

注1) CAN-DO リスト:4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」及び「書くこと」）別に設定した、学年、学期ごとの学習到達目標の一覧。